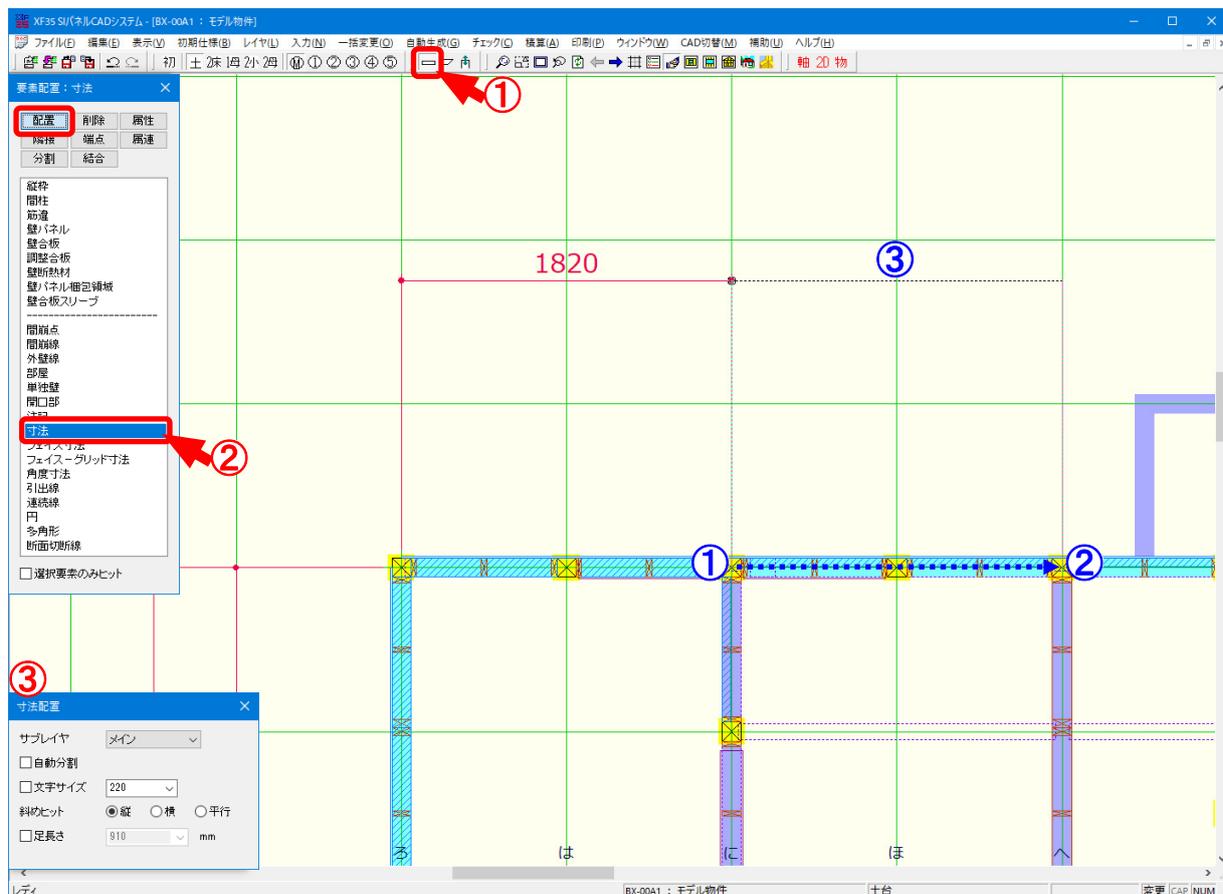


入力—要素—配置／寸法



配置／寸法では、配置したパネルや材の寸法を測定します。

- ①  をクリックするか、〔入力—要素〕をクリックします。
- ② 「要素」の画面が表示されます。「配置—寸法」をクリックします。
- ③ 「寸法配置」の画面が表示されます。

・サブレイヤ：寸法を配置するサブレイヤを選択します。

全サブレイヤかメイン～サブレイヤ5のレイヤを指定して配置します。

- ・自動分割：チェックをつけると、部屋線上に寸法を配置した際に部屋で自動分割されます。
- ・文字サイズ：チェックをつけると、寸法の文字サイズを指定して配置できます。

寸法の文字サイズを選択または直接入力で設定します。

〔補助—マスター編集〕の「メニューファイル—寸法文字サイズ」で設定した寸法文字サイズが選択できます。

チェックをつけない場合は、〔補助—マスター編集〕の「パレット設定—伏図画面—（仕様名称）—その他—寸法」で設定した文字サイズで配置されます。

- ・斜めヒット：寸法の計測方向を選択します。

入力要素配置／寸法

・足長さ：チェックをつけると、寸法の足長さを指定して配置できます。

足長さを選択または数値を直接入力で設定します。

〔補助－マスター編集〕の「メニューファイル－寸法足長さ」で設定した足長さが選択できます。

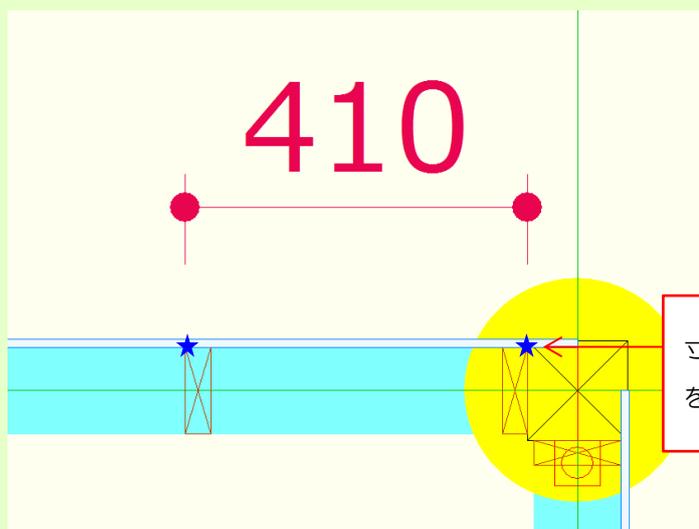
④ ①～②点で寸法の範囲を指定し、③点目で寸法の表示位置を指示します。

※ ③点目で寸法の表示位置を決める際、Ctrlキーを押しながら配置すると、グリッド拘束無しで寸法の引き出し位置が指定できます。

※ ③点目で寸法の表示位置を決める際、既に配置された寸法の端部を指示することもできます。



寸法配置時に、材の角（★）をクリックして配置できます。

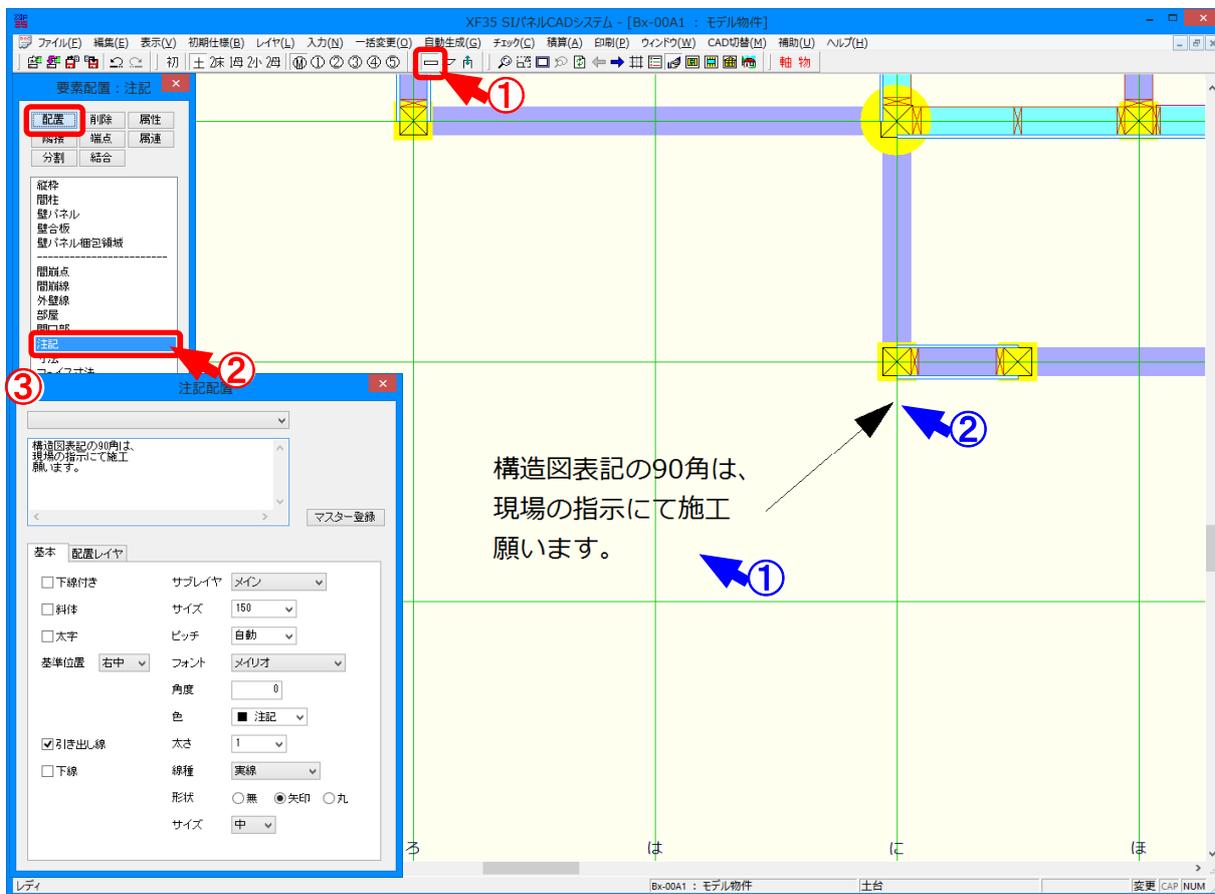


寸法範囲を指定する際に材の角をヒットできます。



配置した寸法は、〔入力－要素〕の「属性－寸法」で文字位置や端部形状等を変更できます。

入力—要素—配置／注記



配置／注記では、伏図に注記の入力を行います。

- ①  をクリックするか、〔入力—要素〕をクリックします。
- ② 「要素」の画面が表示されます。「配置—注記」をクリックします。
- ③ 「注記配置」の画面が表示されます。
「基本」のタブで配置する注記の設定を行い、注記文字を入力します。
※ 注記文字は複数行入力できます。
「配置レイヤ」のタブで注記を配置するレイヤを指定します。
- ④ 「引き出し線」にチェックをつけた場合は、①点目で注記の基準位置を指定し、②点目で引き出し線の先端の位置を指定します。
Ctrlキーを押しながら配置すると、グリッド拘束無しで配置できます。